

やさしさあふれるまちづくり

SUNNY PLACE

# 陽だまり通信

社会福祉法人  
京都市西京区社会福祉協議会  
京都市西京区桂良町23-4  
TEL. 394-5711 FAX. 394-5712

賛助会員加入に  
ご協力をお願いします。

## 誰もが安心できる 「福祉のまちづくり」のために

日頃は、西京区社会福祉協議会の事業にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本会は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進しており、その実現のために、区民の皆様のボランティア精神や財政的な支えを、大きな力にしたいと考えています。

何卒、私どもの活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員となっていただきますよう、お願い申し上げます。

西京区社会福祉協議会 会長 菊池 潤治



▲ 健康すこやか学級



▲ 日常生活自立支援事業 生活支援員学習会



▲ 視覚障害者ボランティア養成講座

※写真は西京区社会福祉協議会が実施・支援している事業の一部です。

### 賛助会員制度とは

西京区社会福祉協議会と各学区社会福祉協議会の活動にご賛同された方に、会費の納入をお願いし、地域福祉事業にご支援をいただくものです。

みなさまのご支援により、平成22年度は**12,270,066円**もの賛助会費及び寄付金をいただきました。

賛助会費は、地域で暮らす高齢者や障害者の生活支援や、学区社会福祉協議会の活動支援、広報紙の発行など、地域福祉のための事業に活用させていただきます。

#### 賛助会員募集期間

**平成23年12月～平成24年2月**

※学区によって募集の時期は異なります

#### 賛助会費

個人… 1口 500円  
法人(企業・団体)…  
1口 1,000円



▲ 西京・福祉フェスタ

# 安心、安全のまちづくりの ためにできること

## 学区社会福祉協議会活動交流会より

9月9日（金）、京都エミナースで、「学区社会福祉協議会活動交流会」を開催しました。

活動交流会は、同志社大学の立木茂雄教授を講師に、東日本大震災が起こり人と人との

つながりの大切さが再認識されている今、阪神大震災での具体例を参考に、住民同士のとつながり・支え合いについて話し合い、各学区で日常的に取り組まれている様々な地域福祉活動の意義を再確認し、更なる充実を目指すことを目的に行われました。

講義「地域の力と安心・安全」では、人と人とのつながりの持つ力をソーシャルキャピタル（社会関係資本）にとらえ、「様々な住民参加」「地域のイベントの活用」「あいさつ」といった実践が、地域の安心・安全に深く関係し役立っていることが、阪神大震災後の神戸の街での調査活動の結果をふまえて報告されました。



グループワー



クでは、「地域の力を高めるために」というテーマに沿って、地域でどのような取り組みが大切か、また、現在取り組んでいることについて意見を出し合いました。

日常的に取り組んでいる「あいさつ」「居場所作り」「見守り」等の活動を、共通するものでまとめていく作業の過程で、意見交換を行い、更に考えを深め、広げることができました。

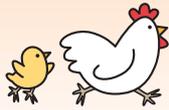
講義、そしてグループワークを通し、支え合いを通じた人と人とのつながりこそが、安心、安全のまちづくりに必要であり、学区社会福祉協議会の日常的な活動である見守り活動等をはじめ、中心的な活動である健康すこやか学級の取り組みの大切さを再確認した交流会となりました。



ご寄付のお礼

貴重なご厚志に心から感謝いたします。

平成23年7月 全京都建築労働組合西京支部 11,500円 本会地域福祉活動の充実のために



## 西京区の各地域での取り組みをご紹介します



### 松尾社会福祉協議会

### 交流の輪をひろめましょう



誰もが生き生きと暮らせる『住みよい松尾』になることを願い始めた『福祉ふれあいまつり』も今年で18回目を迎えました。

お年よりから子ども達まで多くの方の参加をいただき、世代を越えた交流の輪は年を重ねるごとに大きくなり、今では松尾社協の一番大きな事業となっています。

今年の『福祉ふれあいまつり』（一部、二部の編成）を紹介させていただきます。

一部では、5つの福祉体験コ

も達に好評でお年寄りとのよい交流となりました。

講演会では、40歳で失明された松永信也氏より、視覚障がい者として日頃感じられていることをわかりやすく話していただきました。

二部では、健康すこやか学級の皆さんによる合唱、松尾小学校ミュージックコミュニケーションによる楽器演奏、和太鼓クラブによる力強い演奏、また筋トレ教室の皆さんとの歌に合わせたのリズム体操を行い、最後

コーナー（アイマスク体験・高齢者疑似体験・点字体験・手話体験・車いす体験）を設け、参加者にはスタンプラリー形式を取り入れそれぞれ体験いただきました。また昔遊び（コマ回し、メロンコ、紙鉄砲）コーナーは子ども達に好評で、お年寄りとのよい交流となりました。



は全員によるリズム体操で締めくくりました。これからも、たくさんのボランティアさんの力をお借りしながら、世代を越えた松尾の交流の輪をもっと大きく広げていきたいと思っています。最後に、身近にご不自由な方を見かけたら、勇気をもって「お手伝いしましょうか」と声を掛けていただきたいと思います。

地域で

手をつなぐ

社協職員



西京区社会福祉協議会は、住民の皆さんと力を合わせて、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して活動しています。



何か困ったことがあれば、私たちに相談ください。

電話番号

075(394)5711



西京区ボランティア情報

ボランティアをはじめませんか？

# ぼらぼらアンテナ

西京区ボランティアセンター  
〒615-8083  
京都市西京区西京区桂長町23-4  
TEL：075-394-5711  
FAX：075-394-5712

## 平成23年度西京区地域福祉シンポジウム

# 災害からの復興に向けた 地域力の向上について

### ～日頃から心がけておくこと～

本年3月11日に発生した「東日本大震災」は、死者行方不明者併せて2万名、被災家屋は、10万棟以上に及ぶ大きな被害をもたらしました。

災害発生時の対応については、西京区でも防災計画が策定され、一定の対策ができていますが、復興期に発生する様々な問題に対しては、行政が行う取り組みには限界があり、地域で取り組むことも求められています。

もし、西京区で大きな災害が発生し、復興に向けた取り組みが始まったときに、地域に何が必要か、また、住民がそのときに何ができるのかについて、専門家や現場に携わった方から話を聞くとともに、西京区内で実際に復興期に力となる方々との意見交換することを通じて、災害からの復興に向けた地域力の向上について広く考えるシンポジウムです。みなさまのご参加をお待ちしています。



日時

平成23年 **12月1日(木)**  
午後2時～4時30分



場所

京都市西文化会館(ウエスティ) 創造活動室

内容

- 1) **基調講演** 関西学院大学 総合政策学部教授  
**室崎 益輝 氏**
- 2) **シンポジウム**
  - ア) コーディネーター **室崎 益輝 氏**
  - イ) シンポジスト  
仙台市宮城野区社会福祉協議会 主任 **春 由美 氏**  
西京区桂川区民生児童委員会 会長 **大塚 良弘 氏**

参加方法

申込不要 (先着順/最大120名)

## あなたの情報発信、手伝います！

西京区ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する情報発信のお手伝いをしています。ボランティア活動に興味のある方が来るセンターだから、つながるチャンスがたくさんあります。2通りの発信方法がありますので、お気軽にご相談ください！

- ① **チラシの配架**…もっとたくさんの人にチラシを見て欲しい時にご活用ください！
- ② **ホームページでの発信**…ボランティア活動の募集や周知にご活用ください！

<http://www.0753945711.jp/volunteer/>

